傷病者発生

≪ファーストエイド開始≫
①周囲の状況の把握
②傷病者の全身観察
❶呼吸、❷脈
③意識の確認
④大きな声で協力者を求める
通報・AED など
⑤緊急性の判断、救急処置
症状を具体的に確認

発見者

- 傷病者の症状の確認
- 事故の目撃者から聴き取りを行うなどして、発生した事態の正確な状況の把握
- AED の手配、１１９番通報（依頼又は直接）

※現場から１１９番通報を行った場合は電話を介した通信指令員の指示に従い救命措置

- 心肺蘇生法などの応急手当（現場で直ちに）
- 複数の教職員に協力要請
- 駆けつけた教職員と把握した状況を共有

複数の教職員が急行
・公用の携帯電話持参
・応急処置に必要なもの持参

救急車要請や対応に迷ったら
＃7119
Q 助

応援要請

現場近くの教職員又は児童生徒等

応援要請

教職員

教育委員会

確認・支援

報告

指示

指揮命令者（管理職等）

指示

報告

（重大な事故等の場合）
重大事故等対策本部設置

設置

≪役割分担≫
・事故対応者への応援
・管理職への連絡
・傷病者への対応
・救急車への連絡
・状況把握の聴き取りと記録

こんなときにはすぐ119番

（緊急を要する場合は、近くの教職員や発見者等が直接通報）

状況に応じて相談

学校医
かかりつけ医

状況を連絡
（必要に応じ、タクシーで搬送）

状況を説明・医療機関の確認

保護者

搬送・急行

救急車要請や対応に迷ったら
＃7119
Q 助

救急車や警察の出動要請
（１１９番）（１１０番）

Live119

指示に従って対応

必要に応じ教職員が付添

医療機関

※**頭頸部外傷**については、時間が経ってから症状が急変する可能性があるため、医療機関を受診することを基本とする。

【参考】文部科学省「学校の『危機管理マニュアル』等の評価・見直しガイドライン」